

課題	空き家バンク等で登録されている物件は多くの問題を抱えている <ul style="list-style-type: none">・老朽化や放棄によりメンテナンスを必要としている・首都圏在住者はテレビ等で好物件の空き家を目にしているため、実際の物件とのイメージが乖離してる・物件写真の画像の視点の種類が少なく、物件に対する情報が一目でわからない・地域の事情を分からずに購入した方が早期で転出される
目的	購入者の目線でみた、課題点を解決&水平展開できる資料化をして、空き家問題解決に繋げる また、空き家利用を促進することで移住定住活動に繋げる
取組内容	はじめてDIYをする大学生(福島大学生)が購入者目線のリフォームする&選びやすく住みやすくするための+αの提案 ★リフォームコンセプト: ペットと住めるお試し住宅 ①大学生がリフォーム ③物件情報を充実 ②古材や古家具をリフォームに活用 ④リフォーム物件を生活体験として活用
成果	①物件リフォームの完成/プロセスをまとめた解説動画作成 ③おためし居住案内時の充実した室内画像 ②古家具をリメイクした室内家具/古材で作ったドッグラン ④お試し居住制度の運用開始

①大学生がリフォーム

- 建材選定などの計画から実際の工事までを実施
- 完成までのプロセスを動画化、実作業のイメージや費用感を伝える
- 学生が作成した18枚の資料を決定案としてリフォーム作業を進めた
- 工程の内自力で可能な分は学生で、技能が必要な点は専門家に依頼



before



大学生が提案した18Pの資料



リフォームプロセスをまとめた動画を作成

②古材活用

- 地区内の古材や不要家具を回収・再利用
- 研磨・洗浄など整備は大学生が実施



古材製のドッグランの柵を塗装中の大学生

④生活体験 (お試し居住)

- 1週間ほど試して居住できる制度を作る
- 物件購入後のミスマッチ、地方暮らしに対する不安を低減



お試し居住用サイトの作成

③掲載情報の充実

- 360度カメラ等での豊富な物件の内外観の情報を提供
- 遠方からの効率的リサーチ、ミスマッチ減少が可能



ドローンカメラ等による撮影